

# 食農ひとくち情報

2022年  
3月号  
東北農政局

## ～大豆の栽培改善を目指して～「東北大豆セミナー」開催

東北地域は、作付面積で全国の約4分の1を占める大豆の一大産地ですが、平均収量が全国平均を下回り、需要を満たせていないなどの課題があります。

そこで、大豆生産者等の意識及び技術力向上を図るため、節分にあたる令和4年2月3日(木)に「東北大豆セミナー」を開催しました。今年は秋田県に着目した内容を中心とし、会場・オンラインあわせておよそ150名にご参加いただきました。

その中で、優良事例紹介として講演した(農)強首ファームの田村氏は、「“何に時間が取られ、どこで躓いているか”を常に意識している。機械導入によって中耕・培土を確実に実施できるようにしたことで、大豆の生育確保や雑草抑制に繋がるだけでなく、開花期の追肥が可能になった。これが一番大きい」と語りました。参加者からは「課題と解決策が具体的でとても参考になった」「現地で確認したい技術だった」などの声がありました。

その他、先進事例紹介、試験研究機関からの栽培に関する講演、実需者からの講演を行いました。本セミナーの概要は、東北農政局ホームページをご覧ください。

◇ <https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/daizu/kyougikai/symposium/R402.html>

概要は  
こちら



優良事例紹介を行う(農)強首ファームの田村智宏氏



会場における参加者の様子(レポートみずほ、秋田市)

◇ 東北の大豆に関する情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。  
(<http://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/daizu/index.html>)

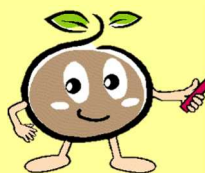
上記掲載記事の問合せ先：東北農政局 生産部 生産振興課 022-221-6169



## 統計情報

### ◆ 東北農業データファイル

～ 簡単な操作で、農林業センサスの主要データを農業集落まで表示 ～



見たい地域を  
プルダウンリスト  
から選択すると、  
データやグラフ、  
コメントが自動で  
表示されるよ！

地域を選択すると...

### 東北農業データファイル

県名及び市区町村名  
↓  
仙台市

旧市町村名  
↓  
(原町3-2)  
生田村2-2  
広瀬村  
大沢村  
秋保村2-2

農業集落名  
↓  
青葉  
亀岡  
八幡第一  
山屋敷  
本沢  
北郷  
台ノ原

データが自動で表示！



- 2020年と2015年との比較で、5年間の動向を見ることが出来ます。
- 県計値との比較で、地域の特徴がわかります。
- 地域の動向や特徴のコメントを自動表示します。

問合せ先：東北農政局 統計部統計企画課 022-745-9378  
[https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/deta/2020\\_census.html](https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/deta/2020_census.html)



## ～令和3年度地産地消等優良活動表彰～ 全国表彰・東北農政局長賞 受賞者決定

地産地消等優良活動表彰は、地産地消や国産農林水産物・食品の消費拡大を推進する様々な取組・活動を募集し、優れたものを表彰しています。東北地域からは、全国表彰で1件、東北農政局長表彰で4件受賞しました。

### ◆ 全国地産地消等優良活動表彰 <食品産業部門>

#### 農林水産大臣賞

- 有限会社伊豆沼農産(宮城県登米市)  
「農業を食業に変える」  
食農体験や加工・販売などの中核施設

直売所「くんべる」

### ◆ 地産地消等優良活動表彰

#### 東北農政局長賞

- <生産部門> よつちゃん農場(宮城県大崎市)
- <食品産業部門> 宮城学院女子大学現代ビジネス学部石原研究室  
水野水産株式会社(宮城県仙台市)
- <食品産業部門> のんき(宮城県石巻市)
- <教育関係部門> 宮城県加美農業高等学校(宮城県加美郡色麻町)

問合せ先：東北農政局 経営・事業支援部  
地域食品・連携課 022-221-6403  
<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/keiei/syokuhin/220209.html>



## 令和4年春の農作業安全確認運動

令和4年3月1日(火)～5月31日(火)

ヨシ!

～重点推進テーマ～

しめよう!シートベルト

転落・転倒時等の死亡事故を大幅に低減できるシートベルトの着用徹底を中心に、農業機械作業の事故防止に向けた運動を全国的に展開中です。

農作業安全対策に関する情報は、農林水産省HPをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/)

## 東北で新たに2産品が地理的表示 (GI) 産品に登録されました (令和4年2月3日登録)

## ◆ 阿久津曲がりねぎ (福島県郡山市)



## ◆ 広田湾産イシカゲ貝

(岩手県陸前高田市広田湾)



登録された産品の詳しい情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/titekizaisan/index.html#r0402031>

## 管内県拠点 地方参事官室から 取組紹介 (青森県)



## 次世代を担う人材を発掘!

農業ははじめました! ～新規就農者の取組紹介～

我が国において少子高齢化が顕著となる中、農山村地域における人口減少と高齢化に伴う農業者の減少や耕作放棄地の拡大が懸念されています。こうした状況下で農業を持続可能なものにしていくためには、就農者の確保、育成が極めて重要であり、次代を担う若者達に農業の魅力を発信し、関心を持ってもらうことが「はじめの一步」となります。

農業ははじめました! ～新規就農者の取組紹介～



ご協力いただいた新規就農者の皆さん (ホームページ紹介画面)

東北農政局青森県拠点では、県内各地で活躍されている若手農業者の方や、青森県の自然に魅了され、移住をして就農した方にスポットをあて、地域で活躍し、次代の農業を担う若い力の取組を紹介するとともに、就農する際の課題や想い、新規就農を考えている方へのメッセージを紹介しています。就農を考えている皆様の参考となり、農業への関心を一段と高めるきっかけとなれば幸いです。

農業ははじめました! ～新規就農者の取組紹介～は、東北農政局ホームページからご覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/aomori/index.html#zireisyu>

問い合わせ先: 東北農政局青森県拠点 総括担当 TEL:017-775-2151 (内線144・107)



◆ 「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

◆ 「食・農ひとくち情報」の問合せ先: 東北農政局企画調整室支援チーム

022-263-1111 (内線4404、4403)



## ◆◆◆◆ 農政トピックス ◆◆◆◆



## ◆ 「令和2年度東北食料・農業・農村をめぐり事情」を公表しました

東北農業の特徴を概観し、現状と課題、主要施策への取組状況を取りまとめた「令和2年度東北食料・農業・農村をめぐり事情」を作成しました。

[https://www.maff.go.jp/tohoku/seisaku/zyousei/file/19\\_zyousei.html](https://www.maff.go.jp/tohoku/seisaku/zyousei/file/19_zyousei.html)

## 高病原性鳥インフルエンザが発生しています!

- 防鳥ネットや壁に穴はあいていませんか?
- 家きん舎の周辺・出入口の消毒を確実に実施していますか?

家きん舎の周囲には、ウイルスの侵入経路が多く存在しています。人・車両、野生動物を介したウイルスの侵入防止のため、今一度、点検・確認をお願いします。

鳥インフルエンザに関する情報はコチラ

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

## 「豚熱」・「アフリカ豚熱」の侵入防止!

平成30年9月、日本において26年振りに豚熱が発生しました。近隣国では、豚熱及びアフリカ豚熱が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いていますので衛生管理を徹底しましょう。

豚熱に関する情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>

アフリカ豚熱に関する情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>

↑ 目的の二次元バーコードがうまく読み込めない場合は、指などで不要な二次元バーコードを隠した状態で読み込んでください。